

## 「資 料」

## 水道協会雑誌の概要

## 日本水道協会誌編集委員会

水道協会雑誌は昭和7年12月に創刊されて以来、本協会の活動状況から水道事業体の取組みを会員に伝える機関誌であるとともに、水道界唯一の研究、調査、実験等に関する学術論文等を掲載する学術雑誌としての役割を担っている。水道協会雑誌が本号で通巻1000号迎えるにあたり、水道協会雑誌創刊の経緯から現在の誌面構成を紹介する。

## 1. 創刊の経緯

水道協会雑誌が創刊にいたるまでには幾多の経緯があり、日本水道協会の前身である上水協議会に遡る。

上水協議会は明治37年に設立され、毎年1回会議を開いて多くの問題を議論し、その議事録を会員に送付していた。しかし、会員は議事録の他に論文・報文、会員の消息などを掲載し、会員の情報・意見交換の場とする機関誌の発行を切望していた。こうした会員の要請を受け、明治39年10月の第3回協議会に雑誌発行の件が提案された。以来、上水協議会では雑誌発行について幾度も議論が繰り返されたが、財政基盤が脆弱であったことなどにより雑誌の発行は見送られたままとなっていた。

その後、昭和7年5月に社団法人水道協会の設立にあたり、定款に機関雑誌の発行が明記されることとなり、第1回理事会及び第1回常任理事会で雑誌刊行配布の件、機関雑誌発刊計画概要が上程、承認されたことにより、水道界の長年の懸案事項であった水道協会雑誌の創刊が昭和7年12月によろやく実現された。以来、水道協会雑誌は、水道界唯一の権威と伝統を誇る水道総合雑誌としての道を歩んできた。平成30年1月号は、発行号数通算で1000号、発行部数は5,300部となっている。

なお、「水道協会雑誌」で使われている雑誌という表現は、いわゆる「雑な、雑ばくな」を意味するものではなく、「広範な」という意味で使用している。水道は、土木工学、衛生工学の範囲に

止まらず、あらゆる分野に及ぶ事業であるため、その広い分野にわたる論文、報文、記事を掲載するという趣旨から付けられたものである。

英語表記は「Journal of Japan Water Works Association」である。

## 2. 学術雑誌としての水道協会雑誌

水道協会雑誌は、創刊以来会員に対して水道に関する様々な情報を提供し、水道事業発展のために大きな役割を果たしてきただけでなく、水道分野における優秀な論文を数多く掲載し、水道に関する各種工学の進歩発展に大きく寄与してきた。

また、本協会が水道に関する調査研究のための委員会活動を活発に行っていること、水道協会雑誌が永年にわたり優秀な論文を数多く掲載し、衛生工学の進歩発展に寄与していることが認められ、日本学術会議より昭和57年3月4日、登録学協会に決定された。

この登録学協会の承認は学術団体として認めた団体に対し行われるもので、水道関係団体としては初の快挙であり、「水道学会の誕生」とも言えるもので、水道関係者にとっても大きな意義を持つ出来事となった。

その後、日本学術会議において昭和59年5月の制度改正が行われ、「登録学術研究団体」となるには、①科学者（個人）により構成されている団体であること、②役員の過半数が、大学もしくは学術研究機関に所属する科学者又は学術研究に従事する科学者によって占められていることという登録要件ができたため、本協会は「広報協力学術

団体」と指定された。

さらに平成17年10月に制定された日本学術会議会則により、従来の「登録学術研究団体」及び「広報協力学術研究団体」が、新たに発足された「協力学術研究団体」に統合されたことにより、現在、本協会は「協力学術研究団体」に指定されている。※ 日本学術会議は、日本学術会議法（昭和22年法律第121号）に基づき、昭和24年1月に内閣総理大臣の所轄の下、政府から独立して職務を行う「特別の機関」として設立され、我が国の全分野の科学者を内外に代表する代表する機関として、科学の向上発展を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的としている。

なお、毎年度水道協会雑誌に掲載された投稿原稿のうち、最優秀と認められる論文については、その著者に対し本協会会長表彰の有効賞として秋期に開催される全国会議において表彰を行っている。これまでの受賞歴は別紙1「有効賞受賞対象となった優秀論文」を参照されたい。

### 3. 会誌編集委員会

会誌編集委員会は、本協会創立当初の昭和7年11月24日に発足して以来、水道協会雑誌の編集方針を審議決定するとともに原稿の内容を審査し、掲載の可否を決定している。掲載にあたって原稿内容に疑義があるときは、事務局を通じて著者に加筆訂正を求めるとともに読者に正確な情報を提供するため慎重を期している。

委員会の歴史は水道協会雑誌の歴史そのものであり、多くの説明を必要としないが、まず昭和7年7月13日開催の第1回理事会において雑誌刊行配布の件について審議し、機関誌の編纂については編集委員会を設置して行うこととした。

その後、同年10月26日開催の第1回常任理事会において中央編集委員の委嘱及び地方編集委員の推薦方を支部長に依頼することとした。中央編集委員は、編集方針の決定及び集録記事の審査を行い、地方編集委員は、中央委員と協力して各支部区域内より適当な記事の収集、その他上下水道界の消息の報道を行うものであった。初代の中央編集委員には原全路東京市水道局長、堀江勝己横浜

市水道局長、草間偉東京帝国大学教授の3氏を委嘱した。また地方編輯委員には次の各地方支部から1名ずつの10氏を委嘱した。

北海道 吉谷一次函館市水道課長、東北 鈴木富太郎仙台市水道課長、関東 岩元秀横浜市水道局庶務課長、東海 丸茂藤平豊橋市長、関西 島崎孝彦大阪市水道部長、中国 後藤房男広島市水道部、九州 上田研介福岡市水道課長、朝鮮 木代嘉樹京城府水道課長、台湾 木原圓次台湾総督府内務局土木課長

第1回委員会は昭和7年11月24日に東京市水道局で開かれ、掲載原稿を審査して創刊号を同年12月に発刊した。

委員会の名称は、当初、地方編輯委員を置いた関係で中央を付して「中央編輯委員会」とし、昭和22年3月11日の第153回委員会から「輯」を改め中央編集委員会とした。一方、地方編集委員制は戦後自然消滅の形となり、昭和36年2月8日の第318回委員会より会誌編集委員会と改称した。

中央編輯委員は当初は3名であったが、昭和12年1月11日の第49回委員会からは2名を追加して5名とし、事務分担は経営関係、上水関係、下水関係の原稿・記事の主査をそれぞれ決め、一原稿の審査は必ず2委員が当たることにした。なお現在は、論文と報文が2名、その他種別は1名が査読に当たっている。

その後、委員の数は昭和36年から50年までは10名ないし11名、51年から56年までが12名ないし13名と推移していたが、57年に至り大学教授3名の参画を求めて委員会陣容の強化充実を図り、現在では大学教授等学識者7名を含む計20名で運営されている。

第二次大戦中の中央編輯委員会は昭和19年11月6日の第142回が最後で、この時は戦中戦後の発刊となる19年12月第139号の編集内容を決めるとともに、日の目を見ずに終わった20年1月号の緊急水道防空対策特輯号の発刊を決めている。

続く143回委員会は、戦後初の委員会として1年後の昭和20年10月に開催されており、復刊第1号となった12月第140号の編集内容を審議決定している。

なお、昭和17年9月開催の第117回委員会にお

いて初めて委員長を置いており、初代委員長には米元晋一元衛生工業協会（現空気調和・衛生工学会）会長が就任している。また昭和51年1月からは副委員長を置いている。

委員会設立当初に委員長制を採らなかったのは、委員会には本協会会長の代理として東京市水道局長が出席し委員会の中心をなしていたことによるものと思われる。

#### 4. 抄録委員会

外国文献の抄録が日本水道協会雑誌に登場したのは昭和11年7月号で、逆勾配配水路における変流（Proc. ASCE1936.2）と汚水処理場操作上の進歩（ENR1936.2）の2編が紹介されている。

その後も外国文献抄録の投稿が続けられ、中央編集委員が抄録内容を審査のうえ掲載していたが、昭和29年に至り投稿によるだけでなく別途に委員会を組織して積極的に抄録を行っていくことが議論されるようになり、編集委員を代表して野中八郎氏が昭和29年2月19日、関係者3氏を集めて抄録の今後の掲載について打合せを行い（これが第1回とされた）、この意見を受けて同年3月9日の第235回中央編集委員会で、新たに下部組織（専門委員会）として抄録委員会を設け、その委員長には中央編集委員をあて、編集委員会と密接な連絡のもとに抄録欄の充実を図ることが決定された。

第2回委員会は昭和29年3月15日に開催し、各委員が抄録原稿を持ち寄り委員会において審議すること、抄録欄は昭和29年5月号より常設することなどを決めた。

なお初代委員長には野中八郎氏が就任しており、また昭和51年1月からは副委員長を置いている。

#### 5. 現在の誌面紹介

##### (1) 投稿原稿

水道協会雑誌は、水道に関する学術的な論文や水道事業体からの事例報告、技術メモ等の投稿原稿を掲載している。水道協会雑誌への掲載にあたっては、投稿規程に基づき査読者による査読を経て、会誌編集委員会において採否を決定してい

る。

##### 1) 評価基準

査読にあたっては、投稿原稿の内容が水道協会雑誌に掲載されるものとしてふさわしいかどうか、新規性、有用性、完成度を客観的に評価している。

①**新規性**：内容が公知、既発表または既知のことから容易に導き得るものでないこと。例えば、以下に示すような事項に該当するときは新規性があると評価される。

- ・ 主題、内容、手法に独創性がある。
- ・ 重要な問題を提起している。
- ・ 現象の解明に大きく貢献している。
- ・ 創意工夫に満ちた計画、設計、工事などについて貴重な技術的検討、経験が報告されている。
- ・ 困難な研究、技術的検討を成し遂げた貴重な成果が盛られている。

②**有用性**：内容が水道の発展に寄与するものであること。例えば、以下に示すような事項に該当するときは有用性があると評価される。

- ・ 主題、内容が時宜を得て有用である。
- ・ 研究・技術の成果の応用性、有用性、発展性が大きい。
- ・ 研究・技術の成果が有用な情報を与えている。
- ・ 研究・技術の優れた体系化を図り、将来の展望を与えている。
- ・ 研究・技術の成果が実務に取り入れられる価値をもっている。
- ・ 今後の実験、調査、計画、設計、工事などに取り入れられる価値がある。
- ・ 問題の提起、結論またはそれに対する意見として有用である。
- ・ 実験・実測のデータであり、研究、工事などの参考として寄与する。
- ・ 新しい数表、図表であり、应用到に便利である。

③**完成度**：内容に重大な誤りがなく、信用のおけるものであり、理解しやすく簡潔、明瞭かつ平易に記述されていること。また、次に示すような事項についても留意して評価する。

- ・ 重要な文献が落ちなく引用され、公平に評価されているか。
- ・ 従来からの技術や研究成果との比較や評価がな

され、適正な結論が導かれているか。

- ・実験や解析の条件が明確に記述されているか。
- ・全体の構成が適切か。
- ・目的と結果が明確か。
- ・既往の研究・技術との関連性は明確か。
- ・文章表現は適切か。
- ・図・表はわかりやすく作成されているか。
- ・全体的に冗長になっていないか。
- ・図・表などの数は適切か。

## 2) 投稿区分

原稿の投稿区分は、論文、報文、事例報告、技術メモ及び総説、資料、海外文献抄録、随筆とし、それぞれの下記区分ごとに示す要件を満たしていることとされている。

- ①論文：水道の法律、行政、技術などに関する有用な研究成果、あるいは知見を統合した成果であって、新規性又は独創性があること。また、論文として完結した体裁を整えているもの。
- ②報文：論文に準ずるもので、論文ほどの完結性は備えていないが、実践的価値があるもの。
- ③事例報告：経営、法令、調査、計画、施工、現場計測などの報告で、有用な情報を含むもの。結果が明確に示されていること。
- ④技術メモ：新しい研究・技術成果を簡潔に述べたもので、断片的であっても有用性があるもの。
- ⑤総説：ある特定のテーマに関して、既存の研究・最近の進展・将来の展望など、幅広い観点から総括的に論説したもの。
- ⑥資料：測定データ、統計データなどが主体であり、有用な情報であるもの。並びに委員会報告。
- ⑦その他：海外文献抄録、随筆、その他編集委員会が必要と認めたもの。

## 3) 座長推薦及び掲載期間

会誌編集委員会では、水道協会雑誌への投稿がより活発になるよう、全国会議（水道研究発表会）において座長をお引き受けいただいている大学・国等公的研究機関の先生方、開催地、日本水道協会から推薦された座長に対し、水道界に大きく貢献する可能性が高いと認められる研究発表について、水道協会雑誌への執筆をご推薦いただくよう協力を依頼している。

なお、水道協会雑誌の投稿原稿受付から掲載ま

での期間は、査読や原稿の完成度、掲載待ち原稿の多寡等により異なるが、概ね1年程度となっている。

## (2) 特集企画

会誌編集委員会では、水道界の動向、山積する課題解決の参考となるよう特集企画を実施している。企画にあたっては、そのテーマに対し先進的な取り組みを行っている水道事業者等に対し、原稿執筆を依頼するとともに、より深く課題を掘り下げる目的から座談会を実施している。

これまでの特集号の実績は、別紙2「水道協会雑誌記念号及び特集号一覧」を参照されたい。

## (3) 文献抄録

この文献抄録は、国外雑誌の論文等の中から水道と関係がある文献に対し、会誌編集委員会の下部組織である抄録委員会委員により、その要旨を邦文にて作成いただいております。水道協会雑誌を通して読者に国外の水道事情を提供する重要な役割を担っている。

現在の水道協会雑誌では、毎月本文中央の緑色の誌面にて、文献抄録を掲載している。

## (4) 文献目録

### 1) 文献目録（国内編）

公衆衛生、地方自治、土木全般等、国内の水道に関係する定期刊行物は、本協会の図書室に備え閲覧に供しているが、その定期刊行物のうち水道に関係する記事については、事務局にて雑誌名、掲載号、題名、著者情報をまとめ、毎月掲載している。

### 2) 文献目録（国外編）

抄録委員会により、国外雑誌の論文等の中から、水道と関連が深い記事の「題名（英文、邦文）」、「著者」、「雑誌名」の情報をまとめ、掲載している。

文献目録の主な対象雑誌は、「Water Research」、「Journal AWWA」、「Water Policy」の3誌である。

### (5) 新聞情報目録

新聞情報目録は、全国の新聞・雑誌、水道専門紙から水道に関係する記事を1カ月分取りまとめ、公表している。記事の分類は、「一般・総括事項」、「経営・営業・労務関係」、「水源・取水関係」、「浄水・水質関係」、「導送配水・給水関係」、

「事故・災害・リスク関係」、「国際関係」に区分している。なお、水道専門紙である日本水道新聞、水道産業新聞からは毎月、新聞に掲載された主要記事の目録をご提供いただいている。

#### (6) 各種報告

水道協会雑誌では、本協会各部署が行っている会務について、主要行事の速報を「協会ニュース」として掲載するとともに、常設委員会・各種協議会の議事録、会員消息、検査実績、認証実績や主要会議報告などを掲載している。

また、水道関係政府予算の動向を紹介するため、毎年4月号に厚生労働省「水道関係予算の概要」、総務省「地方財政の見通しと水道事業」、国土交通省「独立行政法人水資源機構予算の概要」をご執筆いただいている。

本協会各支部の動きについては、行事予定や活動報告を各支部担当者に取りまとめでいただき、「支部だより」として巻頭頁に掲載している。

平成27年4月からは、正会員である水道事業体における先進的な取組みを速報的なニュースとして紹介すべく、「会員 Topics」を設置して各水道事業体に執筆をいただいている。

そのほか定期的に掲載している原稿は以下のとおりである。

#### ①毎月等掲載記事

「ニュース」、「支部だより」、「会員 Topics」、「水道用品検査実績」、「認証登録品の品質確認実績」、「水道水質検査優良試験所規範（水道 GLP）の認定状況」、「本会記事（常設委員会議事録）」、「本協会共催・協賛・後援の行事」等

#### ②定期掲載記事

2月号 水道協会雑誌年間目次

日本水道協会会長表彰受賞者紹介  
水道関係功労者厚生労働大臣表彰受賞者紹介  
全国会議シンポジウム速記録

4月号 水道関係予算の概要（厚生労働省）  
地方財政の見通しと水道事業（総務省）  
独立行政法人水資源機構予算の概要（国土交通省）

8月号 水道統計の経年分析

水道用品検査実績（年度）

日本水道協会登録検査工場一覧

9月号 日本水道協会総会特別講演等速記録

10月号 水道週間の実施状況－各水道事業体水道週間実施報告から－

主要水道用品呼び径別検査実績（年度）

## 6. その他

### (1) 特許出願の権利保護

本協会は、昭和56年2月18日付水協発第1404号をもって、特許庁に対し特許法第30条第1項（実用新案法第9条第1項において準用する場合を含む）の規定に基づく学術団体に本協会が指定されるよう申請をしたところ、これが認められ、特許庁より昭和56年3月27日付56特総第239号をもって本協会を学術団体に指定する旨の通知を受けた。しかし、平成23年の特許法第30条の改正によって、学術団体の指定制度は廃止され、平成24年4月1日以後の出願から、特許庁長官の指定のない学術団体が開催する学会で発表した発明も、発明の新規性喪失の例外規定の適用対象になった。

なお、学術団体の指定制度は廃止されたが、従来どおり、水道協会雑誌をはじめ水道研究発表会、講演会、シンポジウム等の日本水道協会が開催する研究集会等において、原稿、図面等の文書をもって発表された発明、考案について、発表者またはその承継人が特許出願をしようとするときは、発表後6カ月間、その権利が保護される。

### (2) 国際標準逐次刊行物番号の取得

現在世界で刊行中の逐次刊行物は数十万種にのぼり、毎年万単位で増加しつつあるといわれており、このような性質をもつ逐次刊行物の情報を的確に把握し、適切に管理するのは容易ではないため、個々の逐次刊行物に、識別のための固有の番号を与えることの必要性が認められるようになった。

この識別のための国際的なコード番号が、ISSN（International Standard Serial Number: 国際標準逐次刊行物番号）である。

ISSNは個々の逐次刊行物に固有の番号のため、ISSNが付与されていれば、発行国、発行者、言語、内容にかかわらず、逐次刊行物を容易に同定・識別することができる。主要な図書館の蔵書目録やデータベース、一部の電子ジャーナルのデータベース等では、ISSNによる検索が可能であり、逐次刊行物の利用や検索に役立つとされている。

我が国では国立国会図書館において、日本で唯一の法定納本図書館として網羅的に国内の逐次刊行物を収集していることから、ISSN日本センターとしての活動を行っている。ISSN日本センターでは、申請に基づく新規のISSN付与業務の他に、編者や発行者の変更、休廃刊といった逐次刊行物の変化に合わせて、登録済みのISSNの書誌データを日々更新している。

水道協会雑誌では、国立国会図書館逐次刊行物部から昭和56(1981)年6月にISSNを取得し、昭和56年7月第562号より毎号の表紙右上にISSNを表示している。

国際標準逐次刊行物番号 ISSN 0371-0785

キー・タイトル(登録書名) Suido Kyokai Zasshi

### (3) 水道協会雑誌総目次の作成

#### ①年間目次

水道協会雑誌に掲載された論文・報文、資料等の貴重な文献を活用するため、掲載文献の年間目次が水道協会雑誌巻末に掲載されたのは、昭和27年4月号(第210号。昭和26年掲載の文献が対象)が初めてである。現在は、題名、著者名、発行年、発行号・頁の情報を最大5個の分類項目コード毎に区分し、毎年2月に発行される水道協会雑誌に掲載している。

#### ②総目次

水道協会雑誌総目次は、昭和48年、昭和58年と過去2度発行していたが、当時は掲載された文献を分類項目別に並べ替えたものであった。

会誌編集委員会では、水道協会雑誌に掲載した全ての論文、報文、資料等のデータベース化を図るため、平成元年12月に水道協会雑誌データベース化専門委員会を設置した。この委員会は、6名の委員をもって構成し、パソコンを利用した文献

の検索、水道協会雑誌総目次の作成を行うため、水道協会雑誌の創刊号から当時の最新号までのすべての文献等を読み直し、従来1個であったキーワード、分類項目コードをそれぞれ最大5個まで付与する作業を行った。平成2年8月には全ての作業を終了し、パソコンを利用した文献の検索システムが完成した。このシステムをもとに、平成3年12月号までの総目次が平成4年7月に発刊された。本総目次は一つの文献に対する分類項目コードが最大5つに増えたことにより、より深い検索が可能となった。

このパソコンによる文献検索システムは、現在、本協会社内ネットワーク上で活用されており、本協会5階図書室において公開している。

今後、この文献検索システム上の題名、著者名等の情報を水道協会雑誌総目次の簡易版として本協会ホームページ上への公表を予定している。

なお、図書室では、過去の水道協会雑誌のバックナンバーを揃えているほか、水道統計等の日本水道協会発行図書、水道に関係する蔵書を保管しており、図書の閲覧や閲覧者自身によるコピー(有料)の利用が可能である。

### 7. 今後の取組み

水道協会雑誌は、冒頭で述べたように会員に対する機関誌としての側面と学術雑誌としての側面の二面性を有している。会員を始めとする読者の方々に水道協会雑誌を実際に手に取ってご利用いただくために、会誌編集委員会では特集企画等の検討を定期的に行うとともに、先進的な取り組みを行っている水道事業体の事例を紹介するなど、今後も誌面の充実に努めていきたい。

また、読者からの声を今後の水道協会雑誌の編集方針に反映させるため、誌面上に「読者からの声」という欄を設ける予定であり、水道協会雑誌に掲載されている原稿や企画内容に対するご感想・ご意見等を是非お寄せいただきたい。

なお、水道協会雑誌には掲載された記事を紙ベースまたは電子データとして半永久的に保存・活用する役割を担っている。今後も関係官庁、水道事業体、大学等研究機関等から寄せられた水道に関する有用な原稿が水道協会雑誌に掲載される

とともに、蓄積された文献情報が課題解決の一助になることを期待している。是非、過去の掲載文献を含め水道協会雑誌を活用いただきたい。

最後に、水道協会雑誌は昭和7年の創刊以来、80有余年の歴史を経て、創刊1000号という大変大きな節目を迎えることができた。これも読者の皆様方の絶大なるご支援の賜と衷心より感謝申し上げる次第である。会誌編集委員会として誌面の充実に務めるとともに、今後とも更なるご支援とご協力を賜りますようお願いする次第である。

### 参考文献

- 水道協会雑誌総目次（創刊号～第687号）、平成4年7月（1992）、日本水道協会
- 上水協議会・日本水道協会100年史、平成16年7月（2004）、日本水道協会
- 日本水道協会80年の歩み、平成24年10月（2012）、日本水道協会  
国立国会図書館 ISSN 日本センター（<http://ndl.go.jp/jp/aboutus/issn/index.html#anchor01>）
- 特許庁、平成23年法改正前の特許法第30条指定の学術団体  
（[https://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/30jyou/h23g\\_dantai.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/30jyou/h23g_dantai.htm)）

## 別紙 1 有効賞受賞対象となった優秀論文 (昭和23年度～平成28年度)

| 年度                         | 氏名    | 受賞種別    | 受賞論文  | 掲載号 | 掲載年月     |
|----------------------------|-------|---------|---|-----|----------|
| 昭和23                       | 杉戸 清  | 優秀論文    | 清濁公式に関する研究  | 147 | 昭和21年10月 |
|                            |       |         | (I) 清濁公式の検討及び地下水沈澱効率<br>(II) 清濁公式より見たる下水の曝気効率及び希釈効率 | 148 | 昭和21年11月 |
| 昭和24                       | 小島 貞男 | 優秀論文    | 貯水池の湖沼学的研究<br>(I) 東京都山口貯水池の水温周年変化とその特異性             | 165 | 昭和23年7月  |
| 昭和25                       | 洞沢 勇  | 優秀論文    | 下水浄化に於ける活性汚泥の生物学的研究                                 | 178 | 昭和24年8月  |
|                            |       |         | (I) 活性汚泥生物相の構造に就て<br>(II) 活性汚泥生物相の特殊性及び生態的分類        | 181 | 昭和24年11月 |
| 昭和26                       | 岩井 四郎 | 優秀論文    | 砂濾過池を中心とする浄水機能について                                  | 191 | 昭和25年9月  |
|                            |       |         | (その1)   | 194 | 昭和25年12月 |
|                            |       |         | (その2)<br>(その3)                                      | 195 | 昭和26年1月  |
| 昭和27                       | 柴田 三郎 | 優秀論文    | 各種産業排水処理方法に関する研究                                    | 200 | 昭和26年6月  |
|                            |       |         | (I) アルコール製造工場廃水の処理に関する研究                            | 200 | 昭和26年6月  |
|                            |       |         | (II) アルコール廃水及びブタノール廃液の嫌気性消化に関する研究                   | 201 | 昭和26年7月  |
|                            |       |         | (III) 毛織物工場の廃水処理研究                                  | 203 | 昭和26年9月  |
|                            |       |         | (IV) 石油精製工場廃水の処理方法研究                                | 203 | 昭和26年9月  |
|                            |       |         | (V) 人造石油廃水の処理に関する研究                                 | 205 | 昭和26年11月 |
|                            |       |         | (VI) 発生炉ガス廃水の生物化学的酸化                                | 205 | 昭和26年11月 |
|                            |       |         | (VII) 発生炉廃水の処理に関する研究                                | 208 | 昭和27年2月  |
|                            |       |         | (VIII) 田川鉦業所瓦斯工場及び硫酸工場廃水の処理に関する研究                   | 214 | 昭和27年8月  |
| (IX) 昭和産業株式会社一ノ宮工場排水に関する研究 | 214   | 昭和27年8月 |   |     |          |
| 昭和28                       | 板倉 誠  | 優秀論文    | 合理式雨水流出量算定方法の研究                                     | 210 | 昭和27年4月  |
|                            | 宮北 敏夫 | 優秀論文    | 浮子による薬物沈澱池内の水流調査                                    | 221 | 昭和28年3月  |
| 昭和29                       | 扇田 彦一 | 優秀論文    | 分岐または合流する流量のある送配水本管の経済的設計                           | 226 | 昭和28年8月  |
| 昭和30                       | 左合 正雄 | 優秀論文    | 散水ろ床の基本問題に関する実験的研究                                  | 239 | 昭和29年9月  |
|                            |       |         | (I)   | 240 | 昭和29年10月 |
|                            |       |         | (II)<br>(III)                                       | 241 | 昭和29年11月 |
| 昭和31                       | 田辺 弘  | 優秀論文    | 公共水汚濁防止に関する技術上の諸問題                                  | 254 | 昭和30年12月 |
|                            |       |         | (I)   | 255 | 昭和31年1月  |
|                            |       |         | (II)<br>(III)                                       | 256 | 昭和31年2月  |
| 昭和32                       | 堀江 勝己 | 優秀論文    | 水道施設の震害軽減に関する研究                                     | 263 | 昭和31年9月  |
|                            |       |         | (I)   | 265 | 昭和31年11月 |
|                            |       |         | (II) 埋設管の受ける地震力についての考察<br>(III) 円形池状構造物の耐震性         | 267 | 昭和32年1月  |
| 昭和33                       | 川北 四郎 | 優秀論文    | 水道生物分類解説 (I) 序言及び藍藻類                                | 251 | 昭和30年9月  |
|                            |       |         | (II) 珪藻類 (1)  | 253 | 昭和30年11月 |
|                            |       |         | (III) 珪藻類 (2)                                       | 257 | 昭和31年3月  |
|                            |       |         | (IV) 珪藻類 (3)  | 258 | 昭和31年4月  |
|                            |       |         | (V) 珪藻類 (4)   | 263 | 昭和31年9月  |
|                            |       |         | (VI) 珪藻類 (5)  | 265 | 昭和31年11月 |
| 昭和34                       | 河村 勳  | 優秀論文    | 高濁度水の凝集沈澱処理に関する研究                                   | 292 | 昭和34年1月  |
|                            |       |         | (I)<br>(II)   | 293 | 昭和34年2月  |



| 年度   | 氏 名  | 受賞種別 | 受賞論文   | 掲載号 | 掲載年月     |
|------|--|------|--|-----|----------|
| 昭和35 | 岩塚 良三                                      | 優秀論文 | プレストレスト (P.S.) コンクリート, シリンダー, パイプに関する実験的研究<br>(I)<br>(II)  | 305 | 昭和35年2月  |
|      |  |      |  | 306 | 昭和35年3月  |
| 昭和36 | 石橋 多聞                                      | 優秀論文 | 接触沈澱に関する研究<br>(I)<br>(II)<br>(III)   | 314 | 昭和35年11月 |
|      |  |      |  | 315 | 昭和35年12月 |
|      | 藤田 博愛                                      | 優秀論文 | 大口径鋼管の設計上の問題点とその合理的管厚算定法について<br>(I)<br>(II)  | 316 | 昭和36年1月  |
|      |  |      |  | 318 | 昭和36年3月  |
| 昭和37 | 小林 重一                                      | 優秀論文 | 不明水量の調査研究  | 319 | 昭和36年4月  |
|      |  |      |  | 323 | 昭和36年8月  |
|      | 野中 八郎                                      | 優秀論文 | 消化槽の合理的設計法について   | 328 | 昭和37年1月  |
| 昭和38 | 松田 暢夫                                      | 優秀論文 | 導送配水施設の経済性からみた配水池位置及び高さ<br>(I)<br>(II)   | 328 | 昭和37年11月 |
|      |  |      |  | 338 | 昭和37年12月 |
|      | 西堀 清六                                      | 優秀論文 | 中小都市下水道築造事業の経済性の検討<br>(I)<br>(II)<br>(III)   | 339 | 昭和37年12月 |
|      |  |      |  | 340 | 昭和38年1月  |
| 昭和39 | 青木 康夫                                      | 優秀論文 | 管網計算の連立2次方程式による厳密解法  | 342 | 昭和38年3月  |
|      |  |      |  | 350 | 昭和38年11月 |
|      | 久保 越                                       | 優秀論文 | フィルタープレスによる下水汚泥の脱水に関する実験的研究<br>(I)<br>(II)   | 341 | 昭和38年2月  |
|      |  |      |  | 343 | 昭和38年4月  |
| 昭和40 | 丹保 憲仁                                      | 優秀論文 | 水処理における凝集機構の基礎的研究<br>(I)<br>(II)<br>(III)<br>(IV)  | 361 | 昭和39年10月 |
|      |  |      |  | 363 | 昭和39年12月 |
|      |  |      |  | 365 | 昭和40年2月  |
|      |  |      |  | 367 | 昭和40年4月  |
| 昭和41 | 林 猛雄                                       | 優秀論文 | 寒地上水道における凍結及びその防止に関する研究<br>(I)<br>(II)<br>(III)  | 366 | 昭和40年3月  |
|      |  |      |  | 367 | 昭和40年4月  |
|      |  |      |  | 368 | 昭和40年5月  |
| 昭和42 | 中西 弘                                       | 優秀論文 | 水道施設の塩素処理に関する研究  | 386 | 昭和41年11月 |
| 昭和43 | 千葉 慶事<br>山口 充博                             | 優秀論文 | 朝霞浄水場沈でん池の設計   | 393 | 昭和42年6月  |
|      |  |      |  |     |          |
| 昭和44 | 坂根 稟一郎<br>甲田 實<br>室屋 浩一郎<br>村川 生英<br>西川 真生 | 優秀論文 | 配水コントロールに関する研究<br>(I) 配水コントロールにおける配水状態推定法<br>(II) 配水コントロールにおける配水量推定に関する研究  | 410 | 昭和43年11月 |
|      |  |      |  | 411 | 昭和43年12月 |
| 昭和45 | 高桑 哲男                                      | 優秀論文 | 配水管網流計算法に関する研究<br>(I) 流量を未知数とした計算法と反復近似法による改良<br>(II) 連立1次方程式の還元解法とその管網流量計算への応用<br>(III) 節点エネルギー位を未知数とした計算法<br>(IV) 配水コントロールのための基礎的計算例 | 421 | 昭和44年10月 |
|      |  |      |  | 422 | 昭和44年11月 |
|      |  |      |  | 423 | 昭和44年12月 |
|      |  |      |  | 425 | 昭和45年2月  |

| 年度    | 氏名              | 受賞種別               | 受賞論文   | 掲載号     | 掲載年月     |   |     |         |
|-------|-----------------|--------------------|--|---------|----------|---|-----|---------|
| 昭和46  | 佐藤 敦久           | 優秀論文               | 急速ろ過に於けるろ過機構に関する研究<br>(I)<br>(II)  | 427     | 昭和45年4月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 430     | 昭和45年7月  |   |     |         |
| 昭和46  | 松本 順一郎<br>中村 文雄 | 優秀論文               | 凝集剤使用に関する研究<br>(I) アルカリのタイプによる凝集パターンの差<br>(II) アルカリの濃度と凝集剤注入量  | 431     | 昭和45年8月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 433     | 昭和45年10月 |   |     |         |
| 昭和47  | 今岡 正美           | 優秀論文               | 誘導係数を用いたクロス法の1次近似補正改良法による管網計算  | 439     | 昭和46年4月  |   |     |         |
| 昭和48  | 小林 康彦           | 優秀論文               | 英国における水道広域化の進展   | 454     | 昭和47年7月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 渡辺 義公   | 優秀論文     | フロクキュレーターの合理的設計<br>(I) 設計の基礎となる理論<br>(II) 実験的展開による理論の実用化<br>(III) 数値解による理論の展開<br>(IV) 逆混合のある連続流フロクキュレーターでのフロク形成<br>(V) 設計法とフロクキュレーターの機能評価 | 431 | 昭和45年8月 |
|       |                 |                    |  |         |          |   | 441 | 昭和46年6月 |
| 449   | 昭和47年2月         |                    |  |         |          |   |     |         |
| 454   | 昭和47年7月         |                    |  |         |          |   |     |         |
| 457   | 昭和47年10月        |                    |  |         |          |   |     |         |
| 昭和48  | 藤田 賢二           | 優秀論文               | 急速ろ過池における洗浄に関する諸元の水理学的考察   | 455     | 昭和47年8月  |   |     |         |
| 昭和49  | 小出 崇            | 優秀論文               | 配水管作業を考慮した配水管の組織方法<br>(I) 配水管作業とその作業性<br>(II) 配水管の組織方法<br>(III) 断水管路区域の設定(1)<br>(IV) 断水管路区域の設定(2)  | 468     | 昭和48年9月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 470     | 昭和48年11月 |   |     |         |
| 昭和49  | 高井 雄            | 優秀論文               | 接触酸化除鉄の機構に関する研究<br>(I) 接触酸化除鉄反応式の決定<br>(II) 除鉄触媒の化学構造の決定<br>(III) 自触媒酸化のメカニズムの解明   | 472     | 昭和49年1月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 480     | 昭和49年9月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 465     | 昭和48年6月  |   |     |         |
| 昭和50  | 佐藤 忠<br>宮下 和明   | 優秀論文               | 節水コマの研究開発  | 466     | 昭和48年7月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 467     | 昭和48年8月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 479     | 昭和49年8月  |   |     |         |
| 昭和50  | 赤沢 寛<br>橋本 徳蔵   | 優秀論文               | (1) 相模湖における富栄養化の経過<br>(2) 相模湖富栄養化対策についての考察   | 477     | 昭和49年6月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 481     | 昭和49年10月 |   |     |         |
| 昭和51  | 大槻 均            | 優秀論文               | 広域水道計画 (I)<br>々 (II)   | 496     | 昭和51年1月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 497     | 昭和51年2月  |   |     |         |
| 昭和51  | 篠原 紀<br>上田 年比古  | 優秀論文               | (1) 複層ろ過のろ過膜機構に関する基礎的研究<br>(2) 急速ろ過のろ過膜機構に関する基礎的研究   | 489     | 昭和50年6月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 492     | 昭和50年9月  |   |     |         |
| 昭和52  | 海老江 邦雄          | 優秀論文               | 急速ろ過ろ層における抑留物質の挙動<br>(I) 懸濁粒子輸送の卓越因子の検討<br>(II) 懸濁粒子の抑留型とその推移の検討<br>(III) 定常ろ過時の剥離とその作用機構の検討<br>(IV) 水量・水質変動ろ過の検討<br>(V) ろ層の洗浄とその作用機構の検討 | 493     | 昭和50年10月 |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 498     | 昭和51年3月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 507     | 昭和51年12月 |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 508     | 昭和52年1月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 518     | 昭和52年11月 |   |     |         |
| 昭和53  | 中道 喜久<br>川崎 一司  | 優秀論文               | 地震時における送水管路の動的検討<br>(I)<br>(II)  | 516     | 昭和52年9月  |   |     |         |
|       |                 |                    |  | 517     | 昭和52年10月 |   |     |         |
|       | 山村 勝美           | 優秀論文               | 原水水質と浄水管理についての一考察  | 521     | 昭和53年2月  |   |     |         |
| 梶野 勝司 | 優秀論文            | 塩素処理におけるトリハロメタンの形成 | 514  | 昭和52年7月 |          |   |     |         |

| 年度   | 氏 名   | 受賞種別 | 受賞論文   | 掲載号                      | 掲載年月                                       |
|------|---|------|--|--------------------------|--|
| 昭和54 | 玉井 義弘<br>山田 豊実<br>宮内 潔<br>木村 久彦<br>安藤 朝広    | 優秀論文 | 水政策と資源・エネルギー問題   | 526                      | 昭和53年7月                                    |
|      | 亀井 翼  | 優秀論文 | 処理性評価のための水質変換マトリックス<br>(Ⅰ) 有機成分の凝集処理による除去の予測と評価<br>(Ⅱ) 好気性生物処理による有機物除去の予測と評価<br>(Ⅲ) 活性炭吸着による有機物の除去評価 | 530<br>531<br>532        | 昭和53年11月<br>昭和53年12月<br>昭和54年1月            |
| 昭和55 | 藤岡 宏  | 優秀論文 | 相模原高架調整池の耐震性に関する検討   | 546                      | 昭和55年3月                                    |
| 昭和55 | 白水 暢<br>須藤 侍郎<br>松田 恵一                      | 優秀論文 | 天然ゼオライトによる下水処理水中のアンモニアイオンの吸着ならびにアンモニア回収法の実験研究<br>(Ⅰ) 天然ゼオライトによるアンモニア除去<br>(Ⅱ) 再生液中アンモニアの放散・回収        | 540                      | 昭和54年9月                                    |
|      |   |      |  | 541                      | 昭和54年10月                                   |
| 昭和56 | 西塚 正美<br>高橋 将憲                              | 優秀論文 | 埋設鋼管路の地震時挙動観測と耐震設計<br>(Ⅰ)<br>(Ⅱ)   | 550                      | 昭和55年7月                                    |
|      |   |      |  | 552                      | 昭和55年9月                                    |
|      | 石橋 良信                                       | 優秀論文 | 上水汚泥の凍結融解処理に関する研究<br>(Ⅰ) 凍結現象の観察<br>(Ⅱ) 脱水性の改善および影響因子<br>(Ⅲ) ケーキの土質工学的性状<br>(Ⅳ) ケーキ処分と安定性            | 519<br>525<br>553<br>558 | 昭和52年12月<br>昭和53年6月<br>昭和55年10月<br>昭和56年3月 |
| 昭和56 | 相澤 貴子<br>眞柄 泰基                              | 優秀論文 | トリハロメタン生成能による浄水処理プロセスの評価<br>(Ⅰ) 泥炭地浸出水のトリハロメタン生成特性<br>(Ⅱ)  | 557                      | 昭和56年2月                                    |
|      |   |      |  | 558                      | 昭和56年3月                                    |
| 昭和57 | 綾 日出教                                       | 優秀論文 | 配水施設のシミュレーション<br>(Ⅰ) マイクロコンピュータによる管網計算<br>(Ⅱ) 既知データによるシミュレーション<br>(Ⅲ) 最適化問題                          | 559                      | 昭和56年4月                                    |
|      |   |      |  | 568                      | 昭和57年1月                                    |
| 569  |   |      |  | 昭和57年2月                  |  |
| 昭和57 | 住友 恒  | 優秀論文 | 広域水道に関する一連の研究<br>(Ⅰ) 安全性からみた水道の広域化目標の具体化<br>(Ⅱ) 安全性からみた広域化水道の適正規模                                    | 562                      | 昭和56年7月                                    |
|      |   |      |  | 565                      | 昭和56年10月                                   |
| 昭和58 | 後藤 圭司                                       | 優秀論文 | 配水管網における水質変化<br>(Ⅰ) 管網の管径路問題<br>(Ⅱ) 管網の水質特性<br>(Ⅲ) 管路内の残留塩素濃度減少速度係数                                  | 569                      | 昭和57年2月                                    |
|      |   |      |  | 570                      | 昭和57年3月                                    |
| 571  |   |      |  | 昭和57年4月                  |  |
| 昭和58 | 堤 行彦  | 優秀論文 | トリハロメタン生成能に関する研究<br>(Ⅰ) 有機成分の紫外外部吸収とトリハロメタン生成能<br>(Ⅱ) オゾン処理とトリハロメタン生成能                               | 574                      | 昭和57年7月                                    |
|      |   |      |  | 576                      | 昭和57年9月                                    |
| 昭和59 | 湯浅 晶  | 優秀論文 | 固定層吸着プロセスの動力学<br>(Ⅰ) 解析方法<br>(Ⅱ) パラメーターの算定<br>(Ⅲ) 破過の特性と吸着効率の検討                                      | 583                      | 昭和58年4月                                    |
|      |   |      |  | 584                      | 昭和58年5月                                    |
|      |   |      |  | 585                      | 昭和58年6月                                    |
| 昭和60 | 小軽米 松太郎<br>大沢 章宏<br>山路 忠雄<br>岩本 利行<br>若井 伸彦 | 優秀論文 | 埋設管路の地震時挙動観測   | 601                      | 昭和59年10月                                   |

| 年度   | 氏名  | 受賞種別                                     | 受賞論文  | 掲載号                       | 掲載年月     |
|------|---|--|---|---------------------------|----------|
| 昭和61 | 山田 春美<br>宗宮 功                             | 優秀論文                                     | 塩素処理における有機塩素化合物の生成量と生成特性  | 610                       | 昭和60年7月  |
|      | 浜野 守<br>佐藤 壮夫<br>藤好 紘一郎<br>河相 則夫          | 優秀論文                                     | 大阪府における生物処理実験   | 612                       | 昭和60年9月  |
| 昭和62 | 野島 廣紀<br>野宮 英二<br>吉川 勲<br>佐藤 裕<br>古河原 茂   | 優秀論文                                     | 上下水道料金オンラインシステム<br>-札幌市水道局の場合-  | 622                       | 昭和61年7月  |
|      | 川北 和徳                                     | 優秀論文                                     | 配水管破損事故における季節変動の実態とその分析   | 620                       | 昭和61年5月  |
| 昭和63 | 藤原 啓助<br>芦谷 和芳<br>寺嶋 勝彦                   | 優秀論文                                     | パイロットプラントを用いた淀川原水中の微量有機物の高度処理<br>実験<br>(Ⅰ)<br>(Ⅱ)<br>(Ⅲ)  | 632                       | 昭和62年5月  |
|      |   |  |   | 633                       | 昭和62年6月  |
|      |   |  |   | 635                       | 昭和62年8月  |
| 平成元年 | 小林 泰章                                     | 優秀論文                                     | 地震動による送配水システム内水道水の異常挙動  | 645                       | 昭和63年6月  |
|      | 佐谷戸 安好<br>林 美恵子<br>中室 克彦<br>佐野 仁<br>入口 政信 | 優秀論文                                     | 汚水処理水中有機物のオゾン処理による低沸点有機塩素化合物の<br>前駆物質の消長に関する研究  | 650                       | 昭和63年11月 |
| 平成2年 | 江川 智男<br>白濱 英一                            | 優秀論文                                     | 西谷浄水場高速天日乾燥床の概要と運転実績  | 657                       | 平成元年6月   |
| 平成3年 | 滝沢 智<br>桃井 清至                             | 優秀論文                                     | 再生廃水の生物処理を目的としたアンモニア選択性ゼオライトの<br>再生方法に関する研究<br>(Ⅰ) Na <sup>+</sup> , K <sup>+</sup> のゼオライト再生効果と硝化反応への影響<br>(Ⅱ) ゼオライト再生プロセスのモデル化 | 674                       | 平成2年11月  |
|      |   |  |   | 675                       | 平成2年12月  |
| 平成3年 | 林 一平<br>安藤 伸雄<br>小倉 晉<br>宮本 文穂            | 優秀論文                                     | ファジィ集合論を利用した配水管事故危険度評価  | 676                       | 平成3年1月   |
|      | 平成4年                                      | 森岡 崇行<br>本山 信行<br>星川 寛<br>岡田 光正<br>茂庭 竹生 | 優秀論文  | 臭気物質のオゾン酸化における腐植物質の酸化促進効果 | 681      |

| 年度    | 氏 名   | 受賞種別                    | 受賞論文   | 掲載号                                  | 掲載年月                |
|-------|---|-------------------------|--|--------------------------------------|---------------------|
| 平成5年  | 小川 明<br>小出 拓<br>荒井 和之<br>浅見 吉之<br>森谷 順一<br>青木 稔<br>有井 鈴江<br>宮内 孝夫<br>駒川 忠信<br>笹山 弘<br>本庄 泰明 | 優秀論文                    | 糞便性大腸菌群計数における迅速法の検討  | 693                                  | 平成4年6月              |
|       | 平田 強<br>土佐 光司<br>田口 勝久  | 優秀論文                    | 新しい大腸菌群試験方法「MMO-MUG法」の大腸菌群検出能力の実験的検討   | 698                                  | 平成4年11月             |
| 平成6年  | 加藤 寛久<br>那 大栄<br>平田 綾子<br>神野 透人<br>埴岡 伸光<br>安藤 正典<br>小嶋 茂雄                                  | 優秀論文                    | パージ・トラップ/ガスクロマトグラフ/質量分析計 (GC/MS) 法による揮発性有機化合物の多成分一斉分析法の検討                          | 708                                  | 平成5年9月              |
| 平成7年  | 齊藤 昭二<br>有賀 祐勝  | 優秀論文                    | 津久井湖における水温躍層深度及び流入水流入深度の季節変化<br>津久井湖における植物プランクトンの季節的消長と環境要因との関係                    | 714<br>715                           | 平成6年3月<br>平成6年4月    |
|       | 大瀧 雅寛<br>大垣眞一郎<br>山本 和夫<br>神子 直之  | 優秀論文                    | 中圧及び低圧紫外線ランプによる有機塩素化合物の分解  | 725                                  | 平成7年2月              |
| 平成8年  | 井上 剛<br>後藤 純雄   | 優秀論文                    | 塩素処理によるインプロチオラン分解生成物の同定及びその変異<br>原性と活性炭吸着特性  | 734                                  | 平成7年11月             |
| 平成9年  | 金子 光美   | 優秀論文                    | 二酸化塩素によるウィルスの不活化   | 743                                  | 平成8年8月              |
| 平成10年 | 菅原 繁<br>黒川 真弓<br>胡 建英   | 優秀論文                    | カオリン人工濁水の凝集沈澱に与える藻類由来有機物質の分子<br>量の影響   | 755                                  | 平成9年8月              |
| 平成11年 | 笠原 伸介<br>相澤 拓<br>小澤 源三<br>岡部 聡  | 優秀論文                    | AOCを指標とした高度浄水処理システムの性能評価   | 770                                  | 平成10年11月            |
|       | 関根 勇二   | 優秀論文                    | 排水処理への加温プロセスの導入 (その2)<br>- 無薬注加圧脱水方式の高効率化実務 -                                      | 768                                  | 平成10年9月             |
| 平成12年 | 松田 奉康<br>保坂 幸尚<br>伊原 泰敏<br>圓佛 伊智朗<br>依田 幹雄<br>筒井 和雄   | 優秀論文                    | 地理情報利用による河川流域汚濁負荷量の予測<br>- 東京都水源河川での事例 -<br>河川流域汚濁負荷量に基づく長期水質予測<br>- 東京都水源河川での事例 - | 775<br>781                           | 平成11年4月<br>平成11年10月 |
|       | 平成13年   | 中島 典之<br>古米 弘明<br>中川 博之 | 優秀論文   | 貯水池内溶解有機物の分子量分布及びトリハロメタン生成能の季<br>節変動 | 787                 |

| 年度    | 氏名   | 受賞種別 | 受賞論文   | 掲載号 | 掲載年月     |
|-------|--|------|--|-----|----------|
| 平成14年 | 高田 至郎<br>藤原 正弘<br>宮島 昌克<br>武田 賢治<br>加藤 高敏<br>加藤 博光       | 優秀論文 | 地盤増幅特性と液状化を考慮した水道管路地震被害予測システムの研究                     | 801 | 平成13年6月  |
| 平成15年 | 前出 繁次<br>高橋 和彦<br>津久田 昭彦                                 | 優秀論文 | 促進酸化処理による有機物の除去性と臭素酸イオンの生成抑制効果                       | 812 | 平成14年5月  |
|       | 鹿野内 元一<br>渡辺 裕己  | 優秀論文 | 東京都水道局金町浄水場常用発電 PFI モデル事業<br>-コジェネレーションシステムの導入-      | 816 | 平成14年9月  |
| 平成16年 | 測上 知弘  | 優秀論文 | 市内配水過程における高度処理水の残留塩素の挙動とその管理                         | 825 | 平成15年6月  |
| 平成17年 | 宮田 雅典<br>塩出 貞光   | 優秀論文 | 1,4-ジオキサンの水源での実態及び高度浄水処理における挙動について                   | 835 | 平成16年4月  |
|       | 平山 修久<br>伊藤 禎彦   | 優秀論文 | 共分散構造分析を用いた需要者の水道水質に対するリスク認知のモデル化                    | 843 | 平成16年12月 |
| 平成18年 | 神谷 俊行<br>河相 好孝<br>山内 登起子<br>広辻 淳二<br>津野 洋                | 優秀論文 | オゾン・二酸化塩素併用消毒技術に関する研究<br>-クリプトスポリジウム不活化効果と消毒副生成物の評価- | 849 | 平成17年6月  |
|       | 大瀬 俊之<br>佐藤 三郎<br>佐藤 雄典                                  | 優秀論文 | 急速攪拌強度が凝集沈澱処理性に及ぼす影響                                 | 850 | 平成17年7月  |
| 平成19年 | 小泉 明<br>高橋 照章<br>佐藤 利文<br>朝倉 祝治<br>足利 洋明<br>篠 武夫<br>森 裕貴 | 優秀論文 | 漏水に伴うサンドエロージョン事故に対する防止策                              | 869 | 平成19年2月  |
|       | 武市 久仁彦<br>細井 由彦  | 優秀論文 | 浄水場におけるヒューマンエラー低減に関する研究                              | 859 | 平成18年4月  |
| 平成20年 | 佐藤 親房<br>吉沢 健一<br>及川 智<br>北澤 弘美<br>稲貝 とよの                | 優秀論文 | 全有機炭素 (TOC) を考慮した残留塩素減少に関する化学反応論モデル                  | 877 | 平成19年10月 |
| 平成21年 | 浅見 真理<br>小坂 浩司<br>吉田 伸江<br>松岡 雪子<br>国包 章一                | 優秀論文 | 水環境、水道水及び次亜塩素酸ナトリウム溶液における塩素酸と過塩素酸の存在状況と相互関係          | 883 | 平成20年4月  |
|       | 芦田 裕志<br>古屋 泰徳<br>森川 智之<br>松田 恵一                         | 優秀論文 | ポリエチレンスリーブの防食効果に関する実験的研究                             | 884 | 平成20年5月  |

| 年度    | 氏 名  | 受賞種別 | 受賞論文  | 掲載号 | 掲載年月     |
|-------|--|------|---|-----|----------|
| 平成22年 | 尾崎 勝<br>安孫子 昌弘<br>佐々木 史朗<br>加藤 正樹<br>増子 敦          | 優秀論文 | オゾン接触槽の水理特性に関する実験的研究                        | 904 | 平成22年 1月 |
| 平成23年 | 田原 麻衣子<br>杉本 直樹<br>久保田 領志<br>西村 哲治                 | 優秀論文 | 液体クロマトグラフ/質量分析計による水道水中のハロ酢酸類の定量法の確立         | 907 | 平成22年 4月 |
| 平成24年 | 牛窪 俊之<br>森田 裕之<br>石井 和男<br>近藤 秀一                   | 優秀論文 | ダクタイル鋳鉄管のモルタルライニングの中性化と機能劣化に関する研究           | 923 | 平成23年 8月 |
|       | 橋本 貴<br>田村 聡志<br>荒井 康裕                             | 優秀論文 | 電力原単位回帰式を用いた送配水エネルギーの最小化に関する研究              | 930 | 平成24年 3月 |
| 平成25年 | 原本 英司  | 優秀論文 | 降雨出水時の河川における病原微生物及び指標微生物の濃度変動特性の解析          | 931 | 平成24年 4月 |
|       | 小林 真之<br>横山 勝英<br>山崎 公子<br>新谷 哲也<br>新山 雅紀<br>岩本 智江 | 優秀論文 | 小河内貯水池における地形効果が流動に及ぼす影響                     | 932 | 平成24年 5月 |
| 平成26年 | 岸田 直裕<br>今野 祥顕<br>秋葉 道宏                            | 優秀論文 | 我が国における水道原水中の水系感染性ウイルスおよび原虫の存在実態と指標微生物の有効性  | 949 | 平成25年10月 |
| 平成27年 | 春日 郁朗<br>栗栖 太<br>重枝 孝明                             | 優秀論文 | 高度浄水処理工程における細菌現存量のフローサイトメーターを用いた迅速評価        | 957 | 平成26年 6月 |
| 平成28年 | 小保内 啓太<br>下ヶ橋 雅樹                                   | 優秀論文 | 水文水質モデルを用いた釜房ダム流域における豪雨による高濁度化の浄水処理システム影響評価 | 968 | 平成27年 5月 |
|       | 松嶋 夏希  | 優秀論文 | 貯水池の表層水移送装置から放出される温水ブルームの浮上現象に関する研究         | 969 | 平成27年 6月 |

## 別紙2 水道協会雑誌記念号及び特集号一覧 (昭和8年11月～平成29年9月)

| 題 名                          | 掲載号 | 発行年月     |
|------------------------------|-----|----------|
| 1周年記念                        | 7   | 昭和8年11月  |
| 満3周年記念新年号                    | 32  | 昭和11年1月  |
| 第5回総会記念                      | 42  | 昭和11年11月 |
| 第6回総会記念                      | 49  | 昭和12年6月  |
| 創刊5周年記念新年号                   | 56  | 昭和13年1月  |
| 第7回総会記念                      | 65  | 昭和13年10月 |
| 第7回総会記念                      | 66  | 昭和13年11月 |
| 本誌創刊満7周年記念                   | 80  | 昭和15年1月  |
| 水道条例発布50周年記念                 | 81  | 昭和15年2月  |
| 第100号特集号                     | 100 | 昭和16年9月  |
| 水源保全研究特集号                    | 104 | 昭和17年1月  |
| 決戦下水道対策特集号                   | 128 | 昭和19年1月  |
| 「水道工作物の戦時工法」特集<br>(懸賞入選論文特集) | 133 | 昭和19年6月  |
| 水道戦災特集                       | 141 | 昭和21年3月  |
| 下水特集号                        | 154 | 昭和22年6月  |
| 下水特集号 (その二)                  | 155 | 昭和22年7月  |
| 下水道特集号<br>(臨時増刊号10月号別冊)      | 277 | 昭和32年10月 |
| 水道法施行記念特集号                   | 282 | 昭和33年3月  |
| 下水道法施行記念特集号                  | 298 | 昭和34年7月  |
| 第300号記念特集号                   | 300 | 昭和34年9月  |
| 創立30周年記念特集号<br>(懸賞入選論文特集)    | 332 | 昭和37年5月  |
| 第400号記念特集号                   | 400 | 昭和43年1月  |
| 水質特集号                        | 412 | 昭和44年1月  |
| 日本水道会館新館完工記念号                | 420 | 昭和44年9月  |
| 特集：これからの水道計画                 | 424 | 昭和45年1月  |
| 特集：検針・集金制度                   | 428 | 昭和45年5月  |
| 特集：これからの水道管理                 | 432 | 昭和45年9月  |
| 特集：水資源開発                     | 436 | 昭和46年1月  |
| 特集：水道事業と電算機                  | 440 | 昭和46年5月  |
| 特集：財政問題                      | 448 | 昭和47年1月  |
| 創立40周年記念特集号<br>(懸賞入選論文特集)    | 452 | 昭和47年5月  |
| 特集：これからの漏水防止                 | 453 | 昭和47年6月  |
| 特集：浄水場排水処理施設                 | 460 | 昭和48年1月  |
| 特集：水道料金                      | 469 | 昭和48年10月 |
| 特集：給水装置                      | 475 | 昭和49年4月  |
| 特集：委託問題                      | 490 | 昭和50年7月  |



| 題名                     | 掲載号 | 発行年月     |
|------------------------|-----|----------|
| 第500号記念                | 500 | 昭和51年5月  |
| 特集：水源水質事故対策            | 506 | 昭和51年11月 |
| 特集：水道用管                | 512 | 昭和52年5月  |
| 北海道地方支部特集号             | 515 | 昭和52年8月  |
| 水道用水質管理計器特集号           | 523 | 昭和53年4月  |
| 東北地方支部特集号              | 527 | 昭和53年8月  |
| 第12回国際水道会議記念号          | 528 | 昭和53年9月  |
| 渇水対策特集号                | 538 | 昭和54年7月  |
| 関東地方支部特集号              | 539 | 昭和54年8月  |
| 地震対策特集号                | 542 | 昭和54年11月 |
| 中部地方支部特集号              | 551 | 昭和55年8月  |
| 水道用ポンプ設備特集号            | 554 | 昭和55年11月 |
| 水道広報特集号                | 560 | 昭和56年5月  |
| 関西地方支部特集号              | 563 | 昭和56年8月  |
| 中国四国地方支部特集号            | 575 | 昭和57年8月  |
| 九州地方支部特集号              | 587 | 昭和58年8月  |
| 水道用バルブ特集号              | 594 | 昭和59年3月  |
| 水道用計装設備特集号             | 628 | 昭和62年1月  |
| 近代水道100周年記念特集号         | 637 | 昭和62年10月 |
| 水道料金徴収の諸問題特集号          | 660 | 平成元年9月   |
| 水道の法律制定100周年記念特集号      | 665 | 平成2年2月   |
| 給配水システムの高度化特集号         | 687 | 平成3年12月  |
| 特集：膜分離技術               | 698 | 平成4年11月  |
| 特集：水道の国際協力             | 714 | 平成6年3月   |
| 特集：ダム湖水の水質と浄水処理        | 721 | 平成6年10月  |
| 特集：各国の水道事情             | 723 | 平成6年12月  |
| オゾン処理特集                | 733 | 平成7年10月  |
| 特集：日本水道協会検査のあゆみ        | 738 | 平成8年3月   |
| 高度処理特集                 | 771 | 平成10年12月 |
| 特集：インターネットと水道          | 787 | 平成12年4月  |
| 特集：浄水場排水処理施設の更新        | 788 | 平成12年5月  |
| 特集：水源開発                | 791 | 平成12年8月  |
| 特集：膜ろ過処理導入の背景と稼働状況     | 792 | 平成12年9月  |
| 特集：管路管理のあり方と管理ツール      | 799 | 平成13年4月  |
| 水道協会雑誌800号記念           | 800 | 平成13年5月  |
| 特集：水道料金改定              | 801 | 平成13年6月  |
| 計装特集                   | 805 | 平成13年10月 |
| 特集：クリプトスポリジウムと濁度管理強化対策 | 813 | 平成14年6月  |
| 環境会計特集                 | 828 | 平成15年9月  |
| 鉛問題特集号                 | 831 | 平成15年12月 |

| 題 名                                   | 掲載号 | 発行年月      |
|---------------------------------------|-----|-----------|
| 水道事業ガイドライン特集                          | 850 | 平成17年 7 月 |
| 水道ビジョン特集                              | 851 | 平成17年 8 月 |
| 水道法制定50年特集                            | 885 | 平成20年 6 月 |
| 信頼される技術力の確保                           | 897 | 平成21年 6 月 |
| 耐震工法特集                                | 899 | 平成21年 8 月 |
| 膜汚過技術の最新動向特集                          | 900 | 平成21年 9 月 |
| 残留塩素の適正管理特集                           | 915 | 平成22年12月  |
| 水道施設更新・耐震化推進特集 ( I )                  | 934 | 平成24年 7 月 |
| 水道施設更新・耐震化推進特集 ( II )                 | 939 | 平成24年12月  |
| 水道事業の経営改善策特集<br>～強靱で持続可能な水道事業経営を目指して～ | 964 | 平成27年 1 月 |
| 次世代を担う子ども達へ<br>～水道の魅力を伝えるために～         | 982 | 平成28年 7 月 |
| 水道事業の広域化                              | 996 | 平成29年 9 月 |